

部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方（令和6年度第2回）

番号	意見	当日の回答	区役所の対応・考え方	担当課
こども青少年部会				
1	・ 港区運営方針＞経営課題4＞「多様な学びの応援」について、どのように進めていくのか。 ・ 人数の多い学校において、クラス単位で色々な教育を進めるとなると、多様な学びを行き届かすのは難しいのではないかと思います。 ・ 例えば、池島小学校では、児童数がどんどん減少しているものの、多様な学びに対応できる人数になってきていると感じるがどうか？	・ 多様な学びについて、一義的には、不登校や不登校傾向の教室に入りづらい子どもたちにも、しっかり学びを届けるということを考えています。 ・ また、区としては、キャリア教育、体験活動の場の提供等にも取り組んでいますので、ご参加いただける企業・団体等があればお知らせください。 ・ 池島小学校のように、少人数を活かしてユニークな授業を実施している例もありますが、一方で、人数が多いことにより可能となる学びもあります。 ・ 全市的にも、一人一台端末のPCソフトを活用して、個々の学習進度に合わせた指導や、教科によって少人数に分けた指導等に取り組んでいるところです。	同左	協働まちづくり推進課（教育・人権啓発）
2	・ 習い事・塾助成事業について、令和6年10月から所得制限が撤廃されたところであるが、港区内にも、同事業に参画されていない塾がある。そういった塾に、参画いただけるよう勧奨していただけないか。	・ 以前、港区でも同事業への参画を呼びかける広報をしたことがありますが、今般のご意見を受けまして、改めての広報を検討します。	同左に加えて、受講者から「事業者への登録リクエスト」もできますので、これも含めた広報を検討します。	協働まちづくり推進課（教育・人権啓発）
3	◎議題2：令和6年度全国学力・学習状況調査結果（スマートフォン・SNSの影響等）についての意見聴取【主なご意見】 ・ 事前に他の委員がご提出された意見のとおり、農業体験を行う場合でも、スマホから離すのではなく、有効に使って、記録動画を撮影したり、クリエイティブに活用すべきである。 ・ スマホの利用時間の長い子どもの成績が良くないとのデータであるが、勉強の仕方が分からない子どもが、手持ち無沙汰でスマホに手を伸ばすことで利用時間が増えていることもあるように思う。 ・ 小学生ぐらいの時は、家庭でのルールを決めればよいと思う。昔、テレビは食事に見えないなどを決めていたようなものである。 ・ 普段、子どもたちが何をしているか知らない保護者にとっては、スマホ・SNSに関して、子どもたちの方が詳しいために「知らないくせに」と言われてしまうことがある。そこで、保護者の方々にコミュニケーションを増やしていただくこと、スマホ・SNSへの理解を深めていただくことなどの取り組みが必要と思う。 ・ スマホ・SNSによる性被害に関して、性教育に一層取り組む必要があると思う。 など	・ いただいた様々なご意見を参考に、今後の区役所での取り組みを検討してまいります。	同左	協働まちづくり推進課（教育・人権啓発）